

音脈★10-12

休館のお知らせ

東京文化会館は
大規模改修のため
5月7日から休館しております
主催公演は都内各地にて
引き続き
お楽しみいただけます

Interview

チームアップ! オペラ『アマールと夜の訪問者』

柴田真郁 × 岩田達宗

東京文化会館
チェンバーオーケストラ

森内 剛

音楽クリエイター育成プロジェクト
成果発表「プレミエ・コンサート」

向井 響

Column

東京文化会館
響き合うものがたり

東京文化会館

Tokyo Bunka Kaikan

65th Anniversary

チームアップ! オペラ『アマールと夜の訪問者』

東京都による「ネクスト・クリエイション・プログラム」は、子どもたちがより深く芸術を知るために、創作の現場に入って体験することができるもの。今回の『アマールと夜の訪問者』は、このプログラムの一つである「チームアップ! オペラ」として、多摩地区で2公演が予定されている。『アマール』は2020年8月、「東京文化会館オペラBOX」シリーズとして初演されたプロダクションで、当時はコロナ禍だったためにさまざまな制限があった。今回はいわばその完全版といえる。初演時から演出を手がける岩田達宗、そして今回指揮を担当する柴田真郁の2人に、公演にかける意気込みや、作品への思いを存分に語ってもらった。

取材・文／室田尚子（音楽評論家）

コロナ禍での初演から完全版へ

—— 初演を拝見しましたが、貧しい母親に育てられたアマールが奇跡を起こす、というファンタジックな筋立てでありながら、そこには貧困の問題や障害を持った人など社会のマイノリティへの眼差しなど、とても現代的なテーマが描かれていることに感動しました。今回も、そうした演出のコンセプトは変わらないと考えていいのでしょうか。

岩田達宗 もちろんです。というか、今挙げていただいたテーマは作曲者のメノッティが掲げていたものだと思うんです。メノッティは日本に来て自身の作品の演出や指揮を手がけたことがあるんですが、その時に副指揮のような立場に関わっていらった星出豊先生から、メノッティが実際に何を言ったのか、ということをお教えいただきました。今おっしゃった貧困やマイノリティの問題というのは、まさにメノッティ自身が語っていたことに重なります。彼の作品には、たとえそれが喜劇的なものであれ、そうしたテーマが内包されていると思います。

—— 特に最近の社会では、こうしたテーマの重要性が増しているように感じられます。

岩田 初演の時よりもさらに社会の中で格差が広がり、結果的に分断が深刻化していますよね。だから、上演にあたっては出演者により深いリアリティや生々しい痛みに踏み込んでもらう必要があると考えています。ただ、観客が目を背けたくないような

悲惨なものにはしたくない。フィクションをフィクションとして成立させることが大切で、そこが演出家の腕の見せどころだと思っています。

—— 柴田さんは、今回は園田隆一郎さんが指揮をされたのを受け継いでの登板、ということになりますね。

柴田真郁 2020年の初演時に園田さんが編曲されたバージョンと、さらに同年に兵庫芸術文化センターで牧村邦彦さんの指揮で上演された時の室内楽バージョンがあり、両方を比べて検討した結果、初演時の園田版をベースにすることに決めました。ここには、クラリネット・ピアノ・チェロという3つの楽器で成り立つ音楽的効果を狙った面白いアイデアが詰まっているので、さらにそこに指揮者としての私なりのエッセンスを加えたかたちに仕上げたいと思っています。僕は狛江エコルマホール、たましん RISURU ホール、それぞれで演奏した経験があるので、その経験に基づ

いてメロディーが客席に届くような響きを重視した音楽設計を行うつもりです。

メノッティの音楽と歌手への期待

—— メノッティのオペラはとてもわかりやすく面白いのが多いと思うのですが、日本ではあまり上演されません。柴田さんはその理由はどこにあると思われますか。

柴田 メノッティの音楽はテッシトゥーラ（音域）が低いので、ドラマが聴き手の心の中にスッと入ってくるという特徴がある一方、声の技術だけでは表現しきれない点が、上演機会の少ない理由でしょうか。しかし、「音楽としてどのように表現するか」を追求することで、歌手はとも鍛えられるのではないかと思います。

—— キャストについては、初演時と違う歌手も多く採用されていますね。

柴田 3人の王のキャスティングに僕はびっくりしちゃって（笑）。久保田真澄さんは前回から引き続きですが、そこに岡昭宏さ

メロディーが客席に届くような響きを重視した音楽設計を行うつもりです。

©T.Tairadate



SHIBATA
Maiku

柴田真郁

指揮

んと工藤和真さんという全然スタイルの違う3人が集まるんですから、それはもうカレーと寿司と中華を組み合わせるみたいなものだ(笑)。この3人の声楽的な特徴を活かしつつアンサンブルをどう作っていくのかという、僕にとっては大変やがいのある面白い仕事をもらったと思っています。

岩田 より多くの歌手にメノッティ作品に触れてほしいと思い、キャストを刷新しました。日本ではプリテンやメノッティといった英語圏の20世紀の作曲家の作品が上演

フィクションを
フィクションとして
成立させる
ことが大切で、
そこが演出家の
腕の見せどころだと
思っています。

岩田達宗

IWATA
Tatsuji

演出

されることが少ないので、これは歌手にとっても良い機会になったからです。

柴田 この作品は、舞台上でアクティブに何かが起こるということがないんですが、だからこそ岩田さんの演出は、そこでちょっとした動きとか空気感と音楽が相互に作用しあっていくというもので、総合的な「表現力」が要求される。演劇的なものと音楽的なものが合致するという、本当に歌手にとっては経験になるプロダクションだと思います。

—— 初演に引き続きアマルを演じられる盛田麻央さんは、そのあたりがとても上手い歌手ではないでしょうか。

柴田 盛田さんのすごいところは、稽古場に来てから本番まで進化の嵐なんです。一日一日違う表情が増えてきて、常に新しいものを見せてくれる歌手だと思います。

子どもたちが参加するプログラムの意義

—— 子どもたちが参加する「チームアップ! オペラ」ですが、どんな企画を考えられていますか。

岩田 前回と同様、子どもたちには事前のワークショップで、「将来の夢」や「3人の王様からもらいたいもの」などの好きな絵を描いてもらい、それを使って舞台上に吊るす緞帳を作ります。アマルと母親は村という共同体から阻害されており、暮らしているのは村から離れた場所。住んでいる家も立派な木材やレンガで作られているのではなく、布を張っただけの貧しい難民

テントのようなものを想定しています。他には、宝石や宝箱など作品に関連したものも、子どもたちに作ってもらう予定です。また、公演当日に会場案内などの係を体験する子どもたちもいます。

—— 本当に子どもたちがカンパニーの一員になるわけですね。

岩田 今の子どもたちにとって、「音楽」っていったらスマホなんですよ。これだけAIの発達した時代、スマホで何でもできる時代に、多くの人間が集まって生の肉体だけで音楽を作っている、ということを体験してもらうことは、本当に大きな意味があると思います。僕が大学で教えていると、時々、以前にこのワークショップに参加したことがある学生がいて「先生、何年前にあの舞台にいました」って言ってきてくれたりして、その時は本当に嬉しい。だからこれは、ますますやっていかなければいけない仕事だと痛感しています。

柴田 メノッティは放送用にオペラを作ったりしていて、普及という意味では現代の



2020年度の様子(東京文化会館 小ホール)

テクノロジーの力を借りる必要も確かにある。ただ、それでも劇場に来て、人と人が触れ合いながら何かを作るという経験は得難いものがあると思います。先ほど岩田さんがおっしゃったように、そんな中でひとりでも音楽の素晴らしさを知って、そこに関わろうとする子どもがいてくれたら、音楽家としてこんなに嬉しいことはありません。

Information

9月20日(日) 15:00
狛江エコルマホール

10月4日(日) 15:00
たましんRISURUホール
(立川市市民会館) 大ホール

台本・作曲 ジャン＝カルロ・メノッティ

指揮 柴田真郁

演出 岩田達宗

出演 アマル：盛田麻央

*第12回東京音楽コンクール声楽部門第2位

母親：八木寿子 *第9回声楽部門第1位

カスパール王：工藤和真

*第17回声楽部門第2位(最高位)及び聴衆賞

メルヒオール王：岡 昭宏

*第12回声楽部門第1位及び聴衆賞

バルタザール王：久保田真澄

従者：龍 進一郎 *第5回声楽部門入選

羊飼いたち・村人：

コーロ・パストレー

(武蔵野音楽大学学生による合唱)

コーロ・ラガッツィ

(高校生合唱/ワークショップ参加者)

リトルシェパード [狛江]

リトルヴィレジャーズ [立川]

(児童合唱&ダンス/ワークショップ参加児童)

ピアノ：高橋裕子

チェロ：加藤文枝 *第7・8回弦楽部門第2位

クラリネット：福井 萌

ナビゲーター：朝岡 聡

料金 指定3,850円 25歳以下1,100円





© 飯田耕治

チームアップ！オペラ

ワークショップの紹介

ネクスト・クリエイション・プログラム

観るだけではなく、実際の公演に歌唱や演技、工作や舞台裏の仕事等で参加する機会も提供しているチームアップ！オペラのワークショップ。
小中高生自らが興味関心を持つクリエイションの現場に入り、各分野の第一線で活躍するプロフェッショナルから指導を受けることができます。
今年は9月20日（日）に狛江エコルマホール、10月4日（日）立川のたましんRISURUホールで上演する、オペラ『アマールと夜の訪問者』に関連した参加型プログラムです！
※参加申し込みの受付は終了しております。

オペラの登場人物になる

《うた・演技》《ダンス》

プロの歌手と一緒にオペラに出演しよう！第一線で活躍する音楽家やプランナーと共に、オペラを創りながら感受性を磨き、コミュニケーション能力を養います。

【対象】小学生～高校生



過去の参加者の声
新しい友達ができ、すごく楽しかった。

過去の参加者の声
保護者の声
子供がキラキラと毎日を過ごしました。

現場のスタッフの声

参加して終わりではない未来につながるワークショップです。

オペラに登場するものづくり

《工作》

舞台美術の一部となる作品をつくらう！舞台上で使用する幕の装飾、お話に出てくる宝物の製作。参加者はゲネプロにご招待！作品は舞台美術の一部として使用されます。

【対象】小学生～中学生



過去の参加者の声
最初は、難しかったけど、どんどんコツをつかめてきて嬉しかったです。



チームアップ！オペラ
2024年ワークショップの様子を
YouTubeで紹介しています。

2～3ページにチームアップ！オペラ『アマールと夜の訪問者』の指揮：柴田真都と演出：岩田達宗のインタビューを掲載しています。

オペラの現場をしてみる

《舞台裏のお仕事体験》

オペラ公演のお仕事ってどんなものがあるの？実際の現場で舞台裏の1日を体験してみよう！チケットもぎり・プログラム配布・花束預かり、照明・音響・楽屋等の舞台裏見学等を行います。

【対象】小学5年生～高校生



過去の参加者の声
普段は行けない舞台裏や、照明さん、音響さんなどの人たちの話も聞けて楽しかった。

オペラに出演する

《合唱》

音大生による合唱団と一緒に、英語で本格的なオペラを歌ってみよう！演技や振付も覚えて、プロの歌手と共演するチャンス！

【対象】合唱部やミュージカル部、地域の合唱団等に所属している高校生



2026

ネクスト・クリエイション・プログラムとは

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が実施する子供向け芸術文化体験プログラムです。子供たちがより深く、より高いレベルで学ぶことができるよう、自らが興味関心を持つクリエイションの現場に入り、各分野の第一線で活躍するプロフェッショナルから指導を受けることができます。子供たちの芸術文化への夢や個性に寄り添いながら豊かな才能の開花を後押しすることを目指しています。



© 飯田耕治

ミュージック・ワークショップ・フェスタ〈冬〉

東京文化会館はポルトガルのポルトにある音楽施設「カーザ・ダ・ムジカ」と連携し、様々なワークショップを開催しています。



フェスタの詳細はこちら

～0歳から大人まで～ 見つけよう、音楽で広がる新しい世界

「東京文化会館ミュージック・ワークショップ」は、「音楽の素晴らしさをもっと気軽に、一人でも多くの方に味わってほしい！」

そのような思いから生まれました。毎年夏と冬に開催する「ミュージック・ワークショップ・フェスタ」では、ポルトガルの音楽施設「カーザ・ダ・ムジカ」のメンバーが来日し、楽しい音楽ワークショップをお届けします！

日程 11月25日(水)～29日(日)



モーツァルトの音楽であそぼう！

「ミニ・モーツァルト」

11月26日(木)

対象 11:00～11:45 19～35か月
13:30～14:15 6～18か月
15:00～15:45 5～6歳(未就学児)

会場 大田区民ホール・アプリコ 小ホール



一部をご紹介します！

全10演目のうちの



捨てられたものに新しい命を吹き込んで、ステキな音楽にリサイクル！

「ミーゴのまほう」

11月27日(金)

対象 10:30～11:15 19～35か月
12:00～12:45 6～18か月
14:30～15:15(英語で実施) 3～4歳

会場 大田区民ホール・アプリコ 小ホール



今日は王国に古くから伝わるお祭りの日。王様と一緒に、音楽やダンスでお祭りを盛り上げよう！

「森の王様のフェスタ」

11月27日(金)

対象 10:30～11:15 6～18か月
12:00～12:45 19～35か月

会場 大田区民プラザ リハーサル室

カーザ・ダ・ムジカワークショップ・リーダーのジョルジュ・プレンドラスからメッセージが届きました！

Cheguei! (ただいま!) カーザ・ダ・ムジカのチームは、いつも胸を熱くして東京に戻ってきます。私たちがポルトで日々行っていることを、日本の皆様や音楽家の方々と共有できるとも特別な機会だからです。東京文化会館とカーザ・ダ・ムジカのパートナーシップは10年を超える揺るぎない活動を続けています。この2つの施設を結びつけている“音楽”が、私たちと日本の子供たちやご家族をもつなぐのです。一緒に楽しみながら音楽を作りましょう！



2025年度の様子

カーザ・ダ・ムジカのワークショップ・リーダーによる、観客参加型のワークショップ・コンサート

ワークショップ・コンサート
「クラシックであそぼう！」

11月29日(日) 14:30～15:30

対象 3歳～大人
※内容は3歳以上向けですが、生後6か月のお子様から入場可能です。

会場 大田区民プラザ 大ホール



他にも対象年齢別に通年でさまざまなワークショップを開催！詳しくはこちらをご覧ください。

シャイニング・シリーズVol.21

東京文化会館チェンバーオーケストラ

森内 剛 (指揮)

国内外のオーケストラ・メンバーやソリストとして活躍している東京音楽コンクールの歴代受賞者を中心に構成し、2021年より毎年公演を重ねている「東京文化会館チェンバーオーケストラ」。2027年1月30日の公演は、拠点とする東京文化会館が休館中のため、会場をサントリーホールブルーローズへ移して行われる。

この日、指揮台に上がるのは、森内剛。国立音楽大学器楽学科(ピアノ専攻)を卒業後、ザルツブルクのモーツァルトウム大学で指揮を専攻。リンツ歌劇場でコレペティトゥア、カペルマイスターを歴任、現在はフランクフルト歌劇場で、指揮者、コレペティトゥアを務めつつ、音楽総括ヘッドコーチという役職にも就く。ドイツ伝統ともいえる、いわゆる劇場叩き上げの指揮者だ。フランクフルトに住んで8年目となるマエストロに、劇場出勤前の朝の忙しい時間にオンラインで話をうかがった。

取材・文／鈴木淳史(音楽評論家)

—— フランクフルト歌劇場では、公演の指揮などのほかに、音楽総括ヘッドコーチという仕事もされていますが、これは具体的にどういったことをされているのでしょうか？

ひとつの公演を作るにあたって、歌手の実力や調子を考えてコレペティトゥアを選ぶなど、さまざまな条件に合わせ、リハーサルを円滑に進めていく仕事です。つねに演奏家たちの状態を把握するなど、劇場全体を知っておかなければできません。スポーツにおけるコーチと同じですね。

—— 今回、東京文化会館チェンバーオーケストラを指揮されます。常設の楽団ではなく、こういった一期一会といっているオーケストラを指揮するとき、やりやすさ、また逆にやりにくさといったことはあるのでしょうか。

ポジティブに考えています。もちろん、そうでない面もないわけではないですが、たとえば劇場で働いていると、今日は「フィガロの結婚」、明日は「椿姫」といったように、演目、編成だけでなく、同じ演目でもメンバーも日によって変わるんですよ。そういう面では一期一会的な体験を重ねてきていると思います。

また、他の劇場の指揮者が急病などで、急に代役することもあるんですけど、そうなるとリハーサルさえなくて。限られた時間と環境のなかで、音楽を仕上げるというケースには、僕はかなり慣れているほうなんです。

常設のオーケストラの場合、すでに音楽の方向性がある程度決まっているところがありますよね。そうしたはっきりとした音楽観というのは、オーケストラのすばらしい個性であるわけですが、すでに形があるところへ僕が入っていくということになります。

今回のようなオーケストラですと、最初のリハーサルで、こういう音を作り出せるのか、という発見が生まれます。東京文化会館チェンバーオーケストラは、一人ひとり実力のある方が集



©Barbara Aumüller

まっていますから、これを同じ方向に向けて作り出していくのは、かなり楽しみです。

—— 今回は、ハイドンの協奏交響曲、モーツァルトの交響曲第25番、メンデルスゾーンの交響曲第3番という、時代順で、いわゆる王道的なプログラムです。

個人的には、定期演奏会のようなプログラムを決める時にはドラマ的なもの、その統一性だとか、時代背景といったものが大切だと思うんですけど、こういう1回限りの演奏会では、やっぱり演奏家たちが何かを得られる、何かを見せられる作品というのが大切ではないかと思うのです。それぞれの曲に、ソロで活躍する曲があることも、こういったオーケストラの演奏会では重要です。メンバーの中にもコンクールで勝ち上がってソリストとして活動されてる方がいらっしゃいますし。

—— オーストリアやドイツの歌劇場で着実に経験を重ねてきたマエストロ。名手が揃ったオーケストラとどのような音楽を響かせるのか、大いに期待したい。

Information

2027年1月30日(土) 14:00 サントリーホール ブルーローズ
※当初発表しておりました開演時間から、変更となりました。

曲目 ハイドン：協奏交響曲 変ロ長調 Hob.I:105
モーツァルト：交響曲第25番 短調 K183
メンデルスゾーン：交響曲第3番 イ短調 Op.56「スコットランド」



出演 指揮：森内 剛
管弦楽：東京文化会館チェンバーオーケストラ
コンサートマスター：依田真宣★
ヴァイオリン：有賀 叶★ 石亀協子★ 小川恭子
鍵富弦太郎★ 高麗愛子★ 篠原悠那★ 寺内詩織★
中嶋美月★ 福田悠一郎★ 前田妃奈★
ヴィオラ：朴 梨恵★ 長谷山博史★ 森 智明★ 渡邊千春★
チェロ：井上帆乃香★ 上村文乃★ グレイ理沙★
コントラバス：下川 朗★ 白井菜々子★
フルート：梶川真歩★ 多久和怜子★
オーボエ：篠原拓也★ 副田真之介★ 坂根静伶奈★
クラリネット：西川智也★
ファゴット：河野 星★ 鈴木一成★ 山下真紀
ホルン：阿部華苗★ 濱地 宗★ 柳谷 信★ 吉田智就★
トランペット：守岡未央★
ティンパニー：塩田拓郎 他

★東京音楽コンクール入賞・入選者 ◆サントリーホール室内楽アカデミー在籍・修了生

料金 指定3,300円 25歳以下1,100円

音楽クリエイター育成プロジェクト
Tokyo & Paris to the NEXT
音楽クリエイター育成プロジェクト
成果発表「プレミエ・コンサート」

向井 響 (作曲)

東京文化会館がパリのIRCAM (フランス国立音響音楽研究所) と共同で邦人若手作曲家に委嘱を行うプロジェクト「音楽クリエイター育成プロジェクトTokyo & Paris to the NEXT」。その第1期目のクリエイターに選ばれた向井響さんに、本プロジェクトにあたっての意気込みをオンラインで語ってもらった。

取材・文／沼野雄司 (音楽学者)

人の声と機械の声のはざままで

—— IRCAMではどんな作品を？

タイトルは《人の声、機械の声》というもので、日本語にするとなんだかベタに感じられるかもしれませんが、フランス語ではVoix humaine, voix mécanique と、ちょっと韻を踏んだ感じの響きになります。

—— つまりは人間の声と機械の声の間を行き来する……。

AIを使って浄瑠璃の声を少しずつ楽器の音へと変化させていく、モーフィングが作品のひとつの中心になっています。

—— モーフィングというと、映像で顔がだんだん別人になっていくような？

そうです。人の顔なら共通点を探しながら自然につなげられるんですが、音の場合は「何が似ていて、何が違うのか」をまず判断しなきゃいけない。そのあたりがすごく難しいし、逆に面白いところでもあるんです。

人間と機械、声と器楽の橋渡しにくわえて、もうひとつ大きなコンセプトになっているのが「感情」。普通、AIやコンピュータって感情とは縁遠い存在と思われていますよね？そこに、感情の塊のような浄瑠璃という素材を投入する試みでもあるんです。

充実した機材はもちろんですが、IRCAMにはいろいろな研究グループがあって、その一つがまさに「感情と声」を研究しているんです。そうした成果を参照しながら作品を作るのは、とても大きいですね。

—— 制作していて、「これは予想外だった」という驚きや発見があったりします？

あ、それこそがエレクトロニクス音楽の魅力のひとつです。僕はゲームボーイやポケモン世代なんですけど、昔のゲームってバグが結構あったじゃないですか。でも、そのバグが妙に面白かったりしました。同じことが創作でも生かせると思っています。

—— パリのIRCAMというと、どうしても「真面目なゲンダイオンガク」というイメージがあるのだけど、実際に中で仕事してみて

どうですか？

最初は僕もそう思っていました。たとえばテクノとかノイズっぽい音楽などは受け入れてもらえないのかな、と。でも、全然そんなことはなかったですね。僕が去年作った作品はバスドラムのキックがウーファーをがらがら鳴らすような曲なんですけど、そういう方向性もちゃんと受け止めてくれるし、最近はDJや実験音楽とのコラボレーションも盛んで、以前よりずっと開かれた場所になっています。

—— かつてオランダに住み、今はポルトガルを拠点にされている向井さんから見て、パリってどんな街ですか。

ありきたりかもしれませんが、芸術家という存在そのものを大切にしてくれる街。芸術が社会を豊かにするという考え方が自然に根付いている気がしますね。

—— 逆に、そんなパリから、東京はどう見えるのだろう。

パリをうらやましく感じる一方で、東京にも大きな可能性があることを逆に実感します。たとえば東京の都心には多くの高機能なホールがあり、さらに郊外にも驚くほどたくさんの文化施設がある。フランスの場合、そういう機能はどうしてもパリに集中していますからね。

—— なるほど、そのパリと東京を繋ぐという意味で、このプロジェクトには大きな意味がありますね。

東京文化会館や野平一郎音楽監督とIRCAMには長年の信頼関係があるので、「文化会館から来た作曲家」として、こちらでも温かく迎えていただいています。

—— 成果が聴けるのは来年2月26日とのこと。

まずは1月、IRCAM内にある「エススペース・ド・プロジェクション」で世界初演を行なって、そのあとに浜離宮朝日ホールでの日本初演が控えています。

—— 心から楽しみにしています！

育成対象者の素顔や
クリエイション過程等
配信中



noteはこちら



Information

2027年2月26日(金) 19:00 浜離宮朝日ホール 音楽ホール

曲目 向井 響：人の声／機械の声
Voix Humaine / Voix Mécanique
*東京文化会館、IRCAM共同委嘱作品【日本初演】
向井 響：裸の声、感情の水面で Voix Nue, à Fleur de Peau
*東京文化会館委嘱作品【世界初演】
北爪裕道：sparking (2011)
リン・メイファン：Remembe Я (2025)【日本初演】
フィリップ・ユレル：弦楽四重奏曲第3番「En Filigrane」【日本初演】
野平一郎：謎 (2006)

料金 指定3,300円 25歳以下1,100円



10/2
金
14:00

上野 de クラシック Vol.121 パブロ・ティティアイエフ(トロンボーン)

*第22回東京音楽コンクール金管部門第3位

旧東京音楽学校奏楽堂

【曲目】ドヴォルザーク：スラヴ舞曲第2番 Op.72-2
ヴァレリー・マルチェンコ：
組曲『ファミリー・サークル』
〜トロンボーンとピアノのための〜
他

【料金】指定1,100円



パブロ・ティ
ティアイエフ

4
回
15:00

関連情報P2-3

ネクスト・クリエイション・プログラム チームアップ! オペラ『アマールと夜の訪問者』

たましんRISURUホール(立川市市民会館)大ホール

【台本・作曲】ジャン＝カルロ・メノッティ

【指揮】柴田真郁

【演出】岩田達宗

【出演】盛田麻央(アマール) *第12回声楽部門第2位

八木寿子(母親) *第9回声楽部門第1位

工藤和真(カスパール王)

*第17回声楽部門第2位(最高位) 及び聴衆賞

岡 昭宏(メルヒオール王) *第12回声楽部門第1位 及び聴衆賞

久保田真澄(バルタザール王)

龍 進一郎(従者) *第5回声楽部門入選

羊飼いたち・村人:

コーロ・パストーレ(武蔵野音楽大学学生による合唱)

コーロ・ラガッツィ(高校生合唱/ワークショップ参加者)

リトルヴィレジャーズ(児童合唱&ダンス/ワークショップ参加児童)

高橋裕子(ピアノ)

加藤文枝(チェロ) *第7・8回弦楽部門第2位

福井 萌(クラリネット)

朝岡 聡(ナビゲーター)

【料金】指定3,850円 25歳以下1,100円

※9月20日(日) 15:00 狛江エコルマホール公演もあります



柴田真郁
©T. Tairadate



岩田達宗



盛田麻央
©FUKAYA
Yoshinobu/
auraY2



八木寿子
©タクミジュン



工藤和真
©FUKAYA
auraY2



岡 昭宏



久保田真澄



龍 進一郎



朝岡 聡

17
土
14:30

東京文化会館ミュージック・ワークショップ ワークショップ・コンサート「バーバラの魔法のくすり」

かつしかシンフォニーヒルズ アイリスホール

【出演】桜井しおり

野口綾子

(東京文化会館ワークショップ・リーダー)

林 周雅(ヴァイオリン)

石原雄介(コントラバス)

藤原 耕(打楽器)

【対象】6か月~小学生

【料金】指定550円



©鈴木横蔵

ミュージック・ワークショップ・フェスタ〈冬〉

関連情報P5

11/25
水
11:00
13:30
15:00

コオロギの大冒険

大田区民プラザ リハーサル室

【出演】ジョルジュ・ケイジョ

パウロ・ネット

(カーザ・ダ・ムジカ

ワークショップ・リーダー)

【対象】11:00~11:45 6~18か月

13:30~14:15 19~35か月

15:00~15:45 3~4歳

【料金】550円



©鈴木横蔵

14:00

One Day コーラス

大田区民プラザ 大ホール

【出演】ジョルジュ・ブレンダス

アントニオ・ミゲル

(カーザ・ダ・ムジカ

ワークショップ・リーダー)

Sunny Lyla(東京文化会館ワークショップ・リーダー)

【対象】小学生~大人(65歳以上無料招待)

【料金】550円



26
木
11:00
13:30
15:00

ミニ・モーツァルト

大田区民ホール・アプリコ 小ホール

【出演】アントニオ・ミゲル

(カーザ・ダ・ムジカ

ワークショップ・リーダー)

古橋果林

(東京文化会館

ワークショップ・リーダー)

【対象】11:00~11:45 19~35か月

13:30~14:15 6~18か月

15:00~15:45 5~6歳(未就学児)

【料金】550円



©鈴木横蔵

◎掲載情報は2026年8月4日現在のものです。
◎都合により、公演内容が変更になる場合があります。
◎未就学児の入場はご遠慮ください(一部のコンサート/ワークショップを除く)。
◎料金は税込みです。



27

金
10:30
12:00

森の王様のフェスタ

大田区民プラザ リハーサル室

[出演] 磯野恵美
野口綾子
(東京文化会館
ワークショップ・リーダー)

[対象] 10:30~11:15 6~18か月
12:00~12:45 19~35か月

[料金] 550円



©Mino Inoue

10:30
12:00
14:30

ミーゴのまほう

大田区民ホール・アプリコ 小ホール

[出演] 櫻井音斗
塚本江里子
平山佳奈
(東京文化会館
ワークショップ・リーダー)

[対象] 10:30~11:15 19~35か月
12:00~12:45 6~18か月
14:30~15:15 (英語で実施) 3~4歳

[料金] 550円



©鈴木雅蔵

11:00

Shall we シング?

大田区民プラザ 大ホール

[出演] 高田有香子
(東京文化会館
ワークショップ・リーダー)
稲垣領子(ダンス)
駒井ゆり子(ソプラノ)

[対象] 50歳以上(65歳以上無料招待)

[料金] 550円



©Mino Inoue

28

土
10:30

東京文化会館オリジナル・ワークショップ(新制作)

大田区民プラザ リハーサル室

[出演] 2026年度(令和8年度)
東京文化会館ワークショップ・リーダー
育成プログラム受講生

[対象] 19~35か月

[料金] 550円

13:00
14:30

ハッピーとおともだち

大田区民プラザ リハーサル室

[出演] 伊原小百合
野口綾子
Sunny Lyla
(東京文化会館
ワークショップ・リーダー)

[対象] 13:00~13:45 3~4歳
14:30~15:15 5歳~小学校低学年

[料金] 550円



©鈴木雅蔵

29

日
10:00
11:30

タネまき、タネまき、 大きくなあれ!

大田区民プラザ リハーサル室

[出演] 高田有香子
吉澤延隆
(東京文化会館
ワークショップ・リーダー)

[対象] 10:00~10:45 3~4歳
11:30~12:15 (英語で実施)
3歳~小学校低学年

[料金] 550円



©Mino Inoue

29

日
14:30

ワークショップ・コンサート「クラシックであそぼう!」

大田区民プラザ 大ホール

[出演] ジョルジュ・ブレンダス
ジョルジュ・ケイジョ
アントニオ・ミゲル
パウロ・ネート(カーザ・ダ・ムジカ ワorkshop・リーダー)
古橋果林
宮橋菜穂(東京文化会館ワークショップ・リーダー)

[対象] 3歳~大人(6か月以上入場可)

[料金] 指定550円



2023年度の様子

©鈴木雅蔵

12/

4
金
14:00

上野 de クラシック Vol.122

宮下嘉彦(バリトン)

*第23回声楽部門第3位

旧東京音楽学校奏楽堂

[曲目] ロッシーニ: オペラ『セビリアの理髪師』より
「私は町の何でも屋」

モレノ・トロバ: サルスエラ『マラヴィーリヤ』より

「恋人よ、我が命よ」

他

[料金] 指定1,100円



宮下嘉彦

26

土
14:30

東京文化会館ミュージック・ワークショップ

ワークショップ・コンサート

「海の仲間の音楽会~ふしぎな宝箱のひみつ~」

台東区生涯学習センター ミレニアムホール

[出演] 磯野恵美
櫻井音斗
桜井しおり
野口綾子
吉澤延隆(東京文化会館ワークショップ・リーダー)

[対象] 6か月~小学生

[料金] 指定550円



東

京文化会館の外観をひときわ印象づけるのが、コンクリート打放しの大庇が外周をめぐる大屋根だ。お盆(トレイ)のような形をしたこの大屋根

は、太いコンクリートの独立柱によって地上から約7m40cmの高さまで持ち上げられ、底面はエントランス・ホールと大小ホールのホワイエを覆う天井になっている。一辺の長さは、上野駅側が81m60cm、国立西洋美術館側が87mもあり、大屋根全体の面積は、公式戦のサッカーコートに匹敵する。外周の柱から5m70cm水平に張り出した大庇の先端部は、底面からカーブを描いて約4mの高さの頂部までめくれ上がり、堂々としたその姿は海を渡る大型客船のようにも見える。この独特な造形は、どのようにして生み出されたのだろうか。

東京文化会館に盛り込まれた主要な機能は、本格的なオペラやバレエの上演可能な、それまでに日本にはなかったスケールの舞台を持つ2327席*の大ホールと、当初は国際会議場としての利用も考慮されていた661席*の小ホールである。そのほかに、大小の会議室と音楽資料室、140人*収容のレストラン、リハーサル室と楽屋、さらに、客席よりも広い大ホール・ホワイエやエントランス・ロビーなどが設けられた。そのため、延床面積約2万1千㎡、むかい側に建つル・コルビュジエの国立西洋美術館の5倍規模となった。しかし、上野公園内の厳しい建築制限もあって、敷地として十分な広さが確保されていたわけではなかった。この難しい条件を逆手に取って導き出されたのが、大屋根のアイデアだった。

お盆の上には大小会議室や音楽資料室などが載り、屋上庭園も設けられ、大庇の壁に開けられた開口部からは、公

第2回

大屋根の下に広がるホワイエの小宇宙

文／松隈洋

園の緑と国立西洋美術館が切り取られて見える。そして、この大庇を受けとめる重石のように配置されたのが、六角形の大ホール客席と長方形の舞台、正方形の小ホールの客席・舞台である。砕いた白い大理石を埋め込んだ城の石垣のような、それらの堅固な外壁は、そのまま室内へと連続している。一方、その外側に広がる大小ホールのホワイエとエントランス・ロビーに壁はなく、周囲はすべてスチール製の透明なガラス窓で統一された。天井を見上げれば、全体が紺色に塗られて照明器具が「天の川」のようにランダムに配置され、床には、三角形の磁器質タイルが「木の葉」のように表情豊かに張られている。こうして、竣工写真にあるように、圧倒的なスケールと重厚な存在感、伸びやかな開放性を併せ持つ、象徴的なホワイエが生み出されたのだ。日が暮れて開演時間が迫ると、周囲のガラス窓は鏡のような効果を生み、この場所は、満天の星空きらめく公園の一部となる。

さらに、大小ホールの客席へ至るアプローチ路にも、秀逸な方法が試みられている。開演前の待ち合わせ場所ともなるレストランは、小さな丸柱によって中2階に持ち上げられ、周囲を見下ろす眺望の良さが確保される。これによって、大ホールに入場する観客は、エントランス・ロビーから、天井の低いレストランの下をぐくって、ホワイエへとアプローチする。一方、小ホールへは、国立西洋美術館に倣ったのだろう、大小ホールの石垣のような壁に挟まれた渓谷のような空間を斜路(スロープ)が伸び、上った先には、小ホールのホワイエと屋外のテラスが広がる。このような空間構成によって、大小ホールへのアプローチ路に、ダイナミックな空間のリズム感を与え、舞台芸術の鑑賞へとむかう観客の期待感を高める工夫が施されているのである。

東京文化会館の建設計画を検討する委員会に当初から参加した前川には、ヨーロッパの著名なオペラ劇場やコンサート・ホールを視察した経験があった。そこで気づいたのは、ゆったりと確保されたロビーやホワイエなど、客席の外に広がるパブリック・スペースの持つ意味の重要性だった。前川が、大屋根の下に実現しようとしたのは、開演前や幕間に人びとが歓談のできる広場のような場所であり、それこそが、東京文化会館に、音楽の殿堂にふさわしい品格と威厳を与えたものにほかならない。

*客席数は開館当時

まつくま ひろし●1957年兵庫県生まれ。1980年京都大学工学部建築学科卒業、前川國男建築設計事務所入所。2000年京都工芸繊維大学助教授、2008年同教授、2023年4月から神奈川大学教授、京都工芸繊維大学名誉教授。工学博士(東京大学)。専門は近代建築史、建築設計論。近著『未刊の建築 前川國男論・戦後編』(みすず書房 2024)により、第79回毎日出版文化賞(人文・社会部門)、第76回芸術選奨文部科学大臣賞(評論部門)、日本建築学会著作賞を受賞。



音楽資料室からのお知らせ

MUSIC LIBRARY

音楽資料室より

音楽資料室は、東京文化会館4階にある音楽専門の図書館です。
クラシック音楽を中心とした資料や東京文化会館公演プログラム
を所蔵しており、無料で閲覧できます。[4月1日より休室中]



お知らせは
こちらから

音楽資料室は、移転先にて9月3日より開室予定です。(事前予約制)

移転作業のようす



上野での搬出準備

約14万点に及ぶ資料を箱に詰め、書架
はすべて空になりました



移転先への搬入・開室準備

新たなレイアウトに合わせて、資料の配架
を進めています

移転先での利用について

●所在地

〒135-0064 東京都江東区青海2-4-24
青海フロンティアビル 3階

●利用方法

閲覧席・視聴席の数が少ないため、
事前のご予約が必要です。
予約のない場合、混雑状況により
利用をお断りする場合があります。

※予約方法や開室日、その他詳細につきましては、
ホームページをご覧ください。

東京都交響楽団 主催公演のご案内

東京文化会館休館中は、
東京芸術劇場にて開催します。



第1052回定期演奏会Aシリーズ



ジョナサン・ノット
©Niels Ackermann



辻 彩奈
©Makoto Kamiya



吉野直子
©Akira Muto

Information

2026年10月3日(土) 14:00開演(13:00開場)

会場 東京芸術劇場コンサートホール

出演 指揮/ジョナサン・ノット
ヴァイオリン/辻 彩奈* ハープ/吉野直子*

曲目 メンデルスゾーン：序曲《フィンガルの洞窟》op.26
ブルッフ：スコットランド幻想曲 op.46*
ストラヴィンスキー：葬送の歌 op.5
スクリャービン：法悦の詩(交響曲第4番) op.54

料金 S席¥8,000 A席¥7,000 B席¥6,000
C席¥5,000 Ex席¥3,500 ※各種割引あり

第1057回定期演奏会Aシリーズ



準・メルクル
©Mark Allan



ピョートル・アンデルシェフスキ
©Simon Fowler

Information

2026年11月14日(土) 14:00開演(13:00開場)

会場 東京芸術劇場コンサートホール

出演 指揮/準・メルクル
ピアノ/ピョートル・アンデルシェフスキ

曲目 ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調 op.73《皇帝》
ベートーヴェン：交響曲第3番 変ホ長調 op.55《英雄》

料金 S席¥7,500 A席¥6,500 B席¥5,500
C席¥4,500 Ex席¥3,200 ※各種割引あり

ご予約・
お問い合わせ

都響ガイド(月～金：10時～18時/土日祝休み)

0570-056-057

※主催公演開催日等は休業または営業時間が変更となります。

都響WEBチケット

<https://www.tmsso.or.jp>

※インターネットで席を選んで購入できます。

公演中止及び出演者・曲目等
が変更になる場合があります。
最新の情報は都響ホームペ
ージをご確認ください。



「いつ来ても、おいしい」をこれからも

明治5年の創業以来
歴代の料理長に受け継がれ、
磨き続けられる確かな味と技。
時代を超えて変わらない
心づくしのおもてなし。
これからもお客様への感謝の心を
おいしさに込めて、
「よりよき内容 よりよきサービス」を
モットーに、進化し続けてまいります。

上野精養軒 総料理長
君島 祐樹





上野精養軒本店 グリル（フレンチ）



上野精養軒本店 レストラン（洋食）

TEL : 03(3821)2180

東京都台東区上野公園 4-58

TEL : 03(3821)2183



国立科学博物館店
レストラン ムーセイオン
地球館 2 階



東京都美術館店
レストラン ミューズ
東京都美術館 2 階

パートさん
アルバイトさん
スタッフ募集中！

東京都台東区上野公園 7-20 TEL : 03(3827)2080

東京都台東区上野公園 8-36 TEL : 03(5832)5551



上野精養軒

上野公園内不忍池畔
ご婚礼・ご宴会・レストラン
<https://www.seiyoken.co.jp/>



じぶんの好きと
住むマンション。

LIVWIZ

SALON HALL

SOUNDPROOF ROOM

PLAY

音楽と住もう。

サロホール設置 | 全住戸防音仕様



思いを、はせる。
長谷エグループ

お問い合わせ
play@haseko.co.jp
貸主:長谷工総合開発



※掲載の写真はPLAY江古田にて撮影されたものです。

地元応援団 +朝日。



pannapitta
朝日信金イメージキャラクター「パンナピッタ」 © '22 SANRIO APPR No. L622280

街の鼓動に敏感です
朝日信用金庫

東京文化会館オフィシャル・パートナー

当館の主催事業は、次の企業の皆様からのご支援をいただき実施しています。



五野精養軒



長谷工グループ



朝日信用金庫

旭鉦末グループ 株式会社NHKアート 株式会社國光 サントリーパブリシティサービス株式会社
JP東京特選会株式会社 新生ビルテクノ株式会社 スタインウェイ・ジャパン株式会社
日本化学産業株式会社 日本電設工業株式会社 日本みらいホールディングス株式会社
株式会社フジ・メディア・ホールディングス 株式会社前川建築設計事務所

五十音順 (2026年8月1日現在)

ご支援のお願い

当館の主催事業をさらに充実強化するため、皆様からのご支援をお願い申し上げます。

主に個人様向け **賛助会員** 会費(年額)一口2万円

※寄付金に対する税制上の優遇措置を受けることができます。

- 会員期間中、下記の発行物をお届けいたします。
 - ・東京文化会館情報誌「音脈」(年4回発行)
 - ・東京文化会館「アニュアルレポート」(年1回年度末発行)
- 会員期間中、主催事業の稽古見学へご案内いたします。(複数回)



詳細はこちら



法人・団体様向け **オフィシャル・パートナー**

協賛金(年額)一口30万円

これからの東京文化会館をともに創り育てていくパートナーとして
法人・団体様向けの協賛制度をご用意しております。ぜひご検討ください。



詳細はこちら



まちなかで気軽に楽しむクラシック

まちなかコンサート

～芸術の秋、音楽さんぽ～

東京音楽コンクール入賞者を中心とした
アーティスト達の若さ溢れる演奏を、
コンサートホールとは
一味違った空間でお楽しみください



料金：無料（★の会場では施設への入館料／入園料が必要となります）

※やむを得ない事情により、内容を変更または中止する場合がございますので予めご了承ください。

2025年度の
まちなか
コンサートより

江戸東京
たてもの園
（子宝湯）



2023年度の
まちなか
コンサートより

旧岩崎邸庭園
（洋館1階
ペランダ前芝庭）



●国立国会図書館国際子ども図書館（レンガ棟 3階ホール）
木管五重奏
9月27日（日）13:00～13:40／15:00～15:40

●国立西洋美術館（本館1階ロビー）
ヴァイオリン&チェロ二重奏
10月9日（金）14:00～14:20／18:00～18:20

●東京国立博物館（平成館1階ラウンジ）★
コントラバス四重奏
10月10日（土）11:00～11:20／12:00～12:20

●東京都美術館（1階 佐藤慶太郎記念 アートラウンジ）
木管五重奏
10月12日（月・祝）14:00～14:30／15:00～15:30

●旧岩崎邸庭園（洋館1階ペランダ前芝庭）★ ※雨天時洋館1階大食堂（室内）
クラリネット三重奏
10月18日（日）13:00～13:30／15:00～15:30

●江戸東京たてもの園（子宝湯）
ファゴット二重奏
10月24日（土）10:40～11:00／11:50～12:10
フルート&箏二重奏
10月24日（土）13:40～14:00／14:50～15:10
トロンボーン&テューバ二重奏
10月25日（日）10:40～11:00／11:50～12:10
ヴァイオリン二重奏
10月25日（日）13:40～14:00／14:50～15:10

●台東区立したまちミュージアム付設展示場
旧吉田屋酒店 ※雨天中止
金管五重奏
10月31日（土）13:00～13:20／14:00～14:20

●国立科学博物館（日本館2階講堂）★
金管五重奏
11月8日（日）13:30～13:50／15:00～15:20

東京文化会館休館に伴う 事務所移転のお知らせ

東京文化会館は、大規模改修工事のため休館（2026年5月7日～2028年度中）いたしております。
それに伴い、2026年6月より事務所を移転いたしました。

東京文化会館
事務所移転先

〒135-0064 東京都江東区青海2-4-24 青海フロンティアビル 8階
（最寄駅：ゆりかもめ「テレコムセンター」駅 直結）
電話番号：03-5579-6446

ご不便をおかけいたしますが、何卒よろしくお願いいたします。

東京文化会館情報誌「オンミyak」

音脈

Vol.104
2026
Autumn

令和8年8月29日発行（年4回発行）

発行

東京文化会館（公益財団法人東京都歴史文化財団）

X @tbunka_official

f @TokyoBunkaKaikan

i tokyobunkakaikan



t-bunka.jp

企画・編集

東京文化会館 広報担当

デザイン

株式会社ファントムグラフィックス

印刷・製本

日経印刷株式会社

チケット

東京文化会館チケットサービス

03-5962-1788（年末年始等を除く10:00～18:00）

t-bunka.jp/tickets/

☐ 東京芸術劇場ボックスオフィス geigeki.jp/t/
0570-010-296（休館日を除く10:00～19:00）

☐ チケットぴあ t.pia.jp

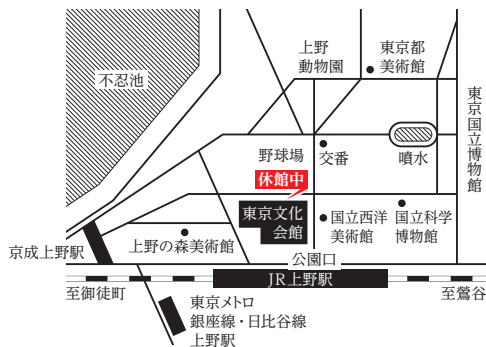
☐ イープラス eplus.jp/t-bunka/

☐ ローソンチケット l-tike.com

※公演により取扱いのないプレイガイドもございます。

休館情報

東京文化会館は令和8年5月7日から令和10年度中（予定）まで大規模改修工事のため休館中です。休館中も都内各地で主催事業を開催しています。詳細につきましては、ウェブサイトやSNS等で随時お知らせしております。



表紙解説

10ページの連載「東京文化会館響き合うものがたり」の写真は、表紙イラストの東京文化会館小ホールへのスロープ上で当時撮影されました。